

♪ ボールで遊ぼう ♪

ファミリーエンジョイテニス

日本女子テニス連盟 飯田 藍
普及委員長 大畑始生子

これまで、日本女子テニス連盟は年間主要事業の一つとして47都道府県支部で「母と子のエンジョイテニス大会」を長年に亘って開催し、たくさんの方々の参加を頂いておりました。しかし、試合形式のテニス大会に参加するには、ある程度のテニス技術が必要になります。また、勝ち負けにこだわって出場するなど参加者が限定されるような問題も見受けられました。

そこで、2009年度からの活動ではさらなるテニスの普及を目指して、「♪ボールで遊ぼう♪ “ファミリー エンジョイ テニス”」として、ボール遊びの要素を取り入れて幼児（6才以下）を対象とした講習会方式に移行します。あらゆることが遊びである幼児年齢から始める“スポンジボールとミニラケットを使用したボール遊び”のルールは全て子供中心に作ります。ボールに触れる機会は多くあるでしょうが、ラケットを握ってボールと遊ぶことは全く新しい体験でしょう。ボール遊びからミニテニス、さらにテニスへと段階を経て移行すれば、子供達はもっと夢中になるでしょう。始めてラケットに触れる子供達でも、講習会に参加できることでテニスの普及活動の原点になると考えています。

ファミリーエンジョイテニスが、日本女子テニス連盟47支部のテニス普及活動としてふさわしいと考えたのは、将来の世界的トッププレイヤーを育てるといふ本格的技術指導のキッズプログラムよりも、遊び心を優先した幼児対象（ちびっこ）のミニラケットとスポンジボールでの講習会の方がより拡大・継続しやすいと思ったからです。子供と一緒に楽しく遊ぶような講習会であれば、これまでのテニスプレーができる“母と子のエンジョイテニス大会”に加えて、テニス経験のない父親や兄弟、姉妹でも、さらには、祖父母をも含む大きな家族メンバーが参加しやすく、テニスに興味を持っていくことへの期待もあります。年間を通して支部主管の講習会を繰り返し開催することは不可能かと思いますので、保護者の方々にボール遊びの方法を詳しく伝授して、それぞれ家族（ファミリー）で継続していただけるような講習内容を支部と本部で考えて行くのはどうかと思っています。また、企業様からのご援助も決定しましたので、支部の意見を聞きながら有意義な活用方法も考えたいと思います。